

簡易公募型プロポーザル方式における選定結果書

1. 業 務 名 令和 6 年度中国圏広域地方計画検討業務
2. 所 企画部 広域計画課
3. 方 簡易公募型プロポーザル方式
4. 公 示 日 令和 6 年 1 月 1 2 日
5. 選定通知日 令和 6 年 2 月 2 日

参加表明書提出者	選定の有無	選定されなかった理由
日本工営 株式会社	○	
株式会社 福山コンサル タント	○	

評価表

業務名： 令和6年度中国圏広域地方計画検討業務

評価の着目点				判断基準	配 点	A社		B社				
参加表明者の 経験及び能力	資格要件	技術部門登録	当該部門の建設コンサルタント登録等	下記の順位で評価する。 ① 当該業務に関する部門（都市計画及び地方計画部門）の建設コンサルタント登録あり。又は、公益法人、独立行政法人、学校教育法に基づく大学又は同等と認められる機関。 ② ①の登録がない。 設計共同体の評価は全ての構成員の実績のうち優位なものをその設計共同体の評価値とする。	① 5 ② 0	都市計画及び地方計画部門		都市計画及び地方計画部門				
						①		①				
						5.0		5.0				
	専門技術力	成果の確実性	平成25年度以降に完了した同種又は類似業務等の実績の有無	下記の順位で評価する。 ① 平成25年度以降、公示日までに完了した同種業務の実績の実績がある。 ② ①の実績がない。 設計共同体の評価は全ての構成員の実績のうち優位なものをその設計共同体の評価値とする。	①10 ② 0	東北圏広域地方計画基礎的検討業務		令和3年度中国圏広域地方計画外検討業務				
						R4年度 東北地方整備局 企画部		R3年度 中国地方整備局 企画部				
						同種		同種				
						80		83				
						①		①				
						10.0		10.0				
	専門技術力	成果の確実性	令和3年度から令和4年度までの業務成績	令和3年度から令和4年度末までに完了した業務のうち、国土交通省及び内閣府沖縄総合事務局開発建設部発注業務の「主な業務の内容：調査設計業務/業務分野：都市・地域計画部門及び都市整備部門」のテクリス平均業務評定点（小数第一位以下切捨）を下記の順位で評価する。 ① 80点以上 ② 79点～71点 ③ 70点以下 業務成績評定を受けた国土交通省及び内閣府沖縄総合事務局開発建設部発注の「主な業務の内容：調査設計業務/業務分野：都市・地域計画部門及び都市整備部門」の業務実績がない場合には加点しない。 設計共同体の評価は全ての構成員の実績を評価対象とする。	①30 ②27～3（平均業務評定点に応じて比例配分、小数第二位四捨五入） ③0	78		80				
						②		①				
						24.0		30.0				
			令和3年度から令和4年度までの業務表彰の有無	令和3年度から令和4年度末までに完了した国土交通省及び内閣府沖縄総合事務局開発建設部発注業務のうち、業種区分が土木関係建設コンサルタント業務の優良業務表彰の経験について、下記の順位で評価する。 ① 局長表彰の実績がある。 ② ①の実績がなく、事務所長表彰又は部長表彰の実績がある。 ③ ①②の実績がない。 設計共同体の評価は全ての構成員の実績のうち優位なものをその設計共同体の評価値とする。	① 5 ② 3 ③ 0	有り		有り				
						①		①				
						局長表彰【R4】（中国地方整備局）		局長表彰【R3】（中国地方整備局）				
小計						5.0		5.0				
						44.0		50.0				
予定管理技術者の経験及び能力					技術者	管理補助技術者	管理技術者	管理補助技術者	管理技術者			
					年齢	－	47	－	47			
	資格要件	技術者資格	技術者資格、その専門分野の内容	下記の順位で評価する。 ① 技術士資格（総合技術監理部門：建設－都市及び地方計画、又は建設部門：都市及び地方計画のいずれかを有する。 ② 国土交通省登録技術者資格（施設分野：都市計画及び地方計画－業務：計画・調査・設計）に該当する資格を有する。 ③ ①②の資格を有しない。	① 4 ② 2、4 ③ 0	－	技術士総監（H28） 技術士（H26）	－	技術士（H27）			
						－	都市及び地方計画	－	都市及び地方計画			
						－	①	－	①			
						－	4.0	－	4.0			
	専門技術力	業務執行技術力	平成25年度以降に完了した同種又は類似業務等の実績の有無	下記の順位で評価する。 ① 平成25年度以降、公示日までに完了した同種業務の実績、又は過去に同種業務をマネジメントした実務経験がある。 ② ①の実績（実務経験含む）がない。 管理技術者あるいは担当技術者として従事した実績を評価対象とし、照査技術者として従事した実績は評価しない。ただし、対象期間中に産休育休等を取得した場合は、産休育休等に相当する期間を業務実績を求める期間に加えることができるものとする。また、対象となる業務実績については所属する会社は問わない。	① 9 ② 5、4	－	東北圏広域地方計画基礎的検討業務	－	令和3年度中国圏広域地方計画外検討業務			
						－	R4年度	－	R3年度			
						－	東北地方整備局 企画部	－	中国地方整備局 企画部			
						－	同種	－	同種			
						－	80	－	83			
						－	①	－	①			
						－	9.0	－	9.0			
						－	無し	－	無し			
	若手技術者	若手技術者	若手技術者の配置の有無	若手技術者の活用について下記の順位で評価する。 ① 管理技術者に若手技術者（満40歳以下）を配置する。 ② ①に該当しない。	① 2 ② 0	－	②	－	②			
						－	0.0	－	0.0			
	専門技術力	業務執行技術力	令和元年度から令和4年度までの業務成績	令和元年度から令和4年度末までに完了した業務において、国土交通省各地方整備局北海道開発局及び内閣府沖縄総合事務局開発建設部発注のテクリスに登録された「主な業務の内容：調査設計業務/業務分野：都市・地域計画部門及び都市整備部門」の平均技術者評定点（小数第一位以下切捨）を下記の順位で評価する。。 ① 80点以上 ② 79点～71点 ③ 70点以下 管理技術者あるいは担当技術者として従事した実績を評価対象とし、照査技術者として従事した実績は評価しない。ただし、対象期間中に産休育休等を取得した場合は、産休育休等に相当する期間を業務成績を求める期間に加えることができるものとする。また、対象となる業務実績については所属する会社は問わない。 なお、業務成績評定を受けた国土交通省及び内閣府沖縄総合事務局開発建設部発注の「主な業務の内容：調査設計業務/業務分野：都市・地域計画部門及び都市整備部門」の業務実績がない場合には加点しない。	① 30 ② 27～3（平均技術者評定点に応じて比例配分、小数第二位四捨五入） ③ 0	－	27.0	－	27.0			
						－	無し	－	無し			
						－	－	－	－			
			令和元年度から令和4年度までの技術者表彰の有無	令和元年度から令和4年度末までに完了した国土交通省及び内閣府沖縄総合事務局開発建設部発注業務のうち、業種区分が土木関係建設コンサルタント業務の優秀技術者表彰の経験について、下記の順位で評価する。 ① 局長表彰の実績がある。 ② ①の実績がなく、事務所長表彰又は部長表彰の実績がある。 ③ ①②の実績がない。 対象期間中に産休育休等を取得した場合は、産休育休等に相当する期間を評価対象期間に加えることができるものとする。また、対象となる業務実績については所属する会社は問わない。	① 5 ② 3 ③ 0	－	③	－	③			
						－	0.0	－	0.0			
						－	0.0	－	0.0			
業務実施体制			業務実施体制の妥当性	下記項目に該当する場合には選定しない。 ① 主たる部分が再委託予定となっている。 ② 業務の分担構成が、不明確又は不自然な場合。 ③ 設計共同体による場合で業務の分担構成が細分化され過ぎている場合、また一の分担業務を複数の構成員が実施することとしている場合。	数値化しない	－	○	－	○			
同種業務：都市計画または地域計画に関する業務					100	－	84.0	－	90.0			
類似業務：設定なし。												